

農業における女性活躍に関する意識・意向調査結果

農林水産省は、農林水産業や農山漁村の活性化に重要な役割を担う女性農業者について、「農業における女性活躍に関する意識・意向について調査（令和4年度）」を実施し、個人経営体の女性農業者1,693人及び男性農業者1,842人から回答を得た結果を公表している（令和5年7月31日）。

現在の農業経営への関わり方についての回答割合をみると、男性農業者では「経営者として関わっている」が87.6%と高いのに対し、女性農業者では「共同経営者として関わっている」が33.0%と最も高く、次いで「パートナーやその親族等が経営を行い、必要に応じて意見を述べている」（25.0%）の順となっている（表-1）。

女性農業者がより農業経営への関わり方を進めるための課題として、男女とも「農作業のきつさ」「休日や自由時間の確保の難しさ」、次いで「家事・育児・介護の負担」「技術・知識・

経験の不足」があげられている（表-2）。

そのため、女性農業者がバランスの取れた農業経営への関わり方を実現するための有効な取組については、男女とも「農作業の省力化（機械化・ITの活用）」や「農業技術・経営等に関する知識の習得」が高く、次いで男性では「雇用等による農業労働力の確保」の順であるが、女性では「家事・育児・介護等に関する家族間の役割分担の適正化」がこれを僅かに上回って次に来る（表-3）。

また、農業経営と家事・育児・介護との分担に関して、パートナーとの分担が適正だと感じているかについては、「適正な分担だと思わない」が26.4%あるのに対し、男性農業者では12.2%とその差が大きく、その適正化も課題の一つである。

(K. O)

表-1 現在の農業経営の関わり方について（数字は回答割合%）

区分	経営者として関わっている	共同経営者として関わっている	特定部門の責任者として関わっている	パートナーやその親族等が経営を行い、必要に応じて意見を述べている	指示された農作業だけを行っている	忙しいときだけ農作業を手伝っている	農作業以外の事務作業に関わっている
男性農業者	87.6	5.0	0.4	2.3	1.2	1.0	0.4
女性農業者	9.3	33.0	4.7	25.0	17.4	5.6	1.2

表-2 女性農業者の農業経営への関わり方を実現するための課題（複数回答 数字は割合%）

区分	家族の理解不足	地域の理解不足	自身の意識	家事・育児・介護の負担	農作業のきつさ	技術・知識・経験の不足	休日や自由時間の確保の難しさ	特にない
男性農業者	5.6	4.1	14.2	27.3	41.2	24.1	43.6	21.0
女性農業者	8.2	3.0	8.7	28.8	38.4	23.6	43.3	21.1

表-3 女性がバランスの取れた農業経営への関わり方を実現するための有効な取組（複数回答 数字は割合%）

区分	農業技術・経営等に関する知識の習得	農業経営への女性の関わり方に関する取決め（家族経営協定等）の締結	女性が研修に参加することについての家族や地域の理解促進	家事・育児・介護等に関する家族間の役割分担の適正化	農繁期等における託児サービス	雇用等による農業労働力の確保	農作業の省力化（機械化・ITの活用）	農業委員・農協役員等の地域や団体の方針を決定する場への女性の参画	特にない
男性農業者	51.1	15.4	26.5	28.6	11.7	45.4	54.1	15.0	7.9
女性農業者	41.5	16.5	31.1	38.2	12.6	37.4	45.0	9.9	12.9